

## 第四回荒川区清掃審議会における意見（後日いただいた意見を含む）

## 【生産者責任について記載すべきである】

- ・ 焼却中心主義からの脱却を、製造段階からごみを出さないシステムの構築を拡大生産者責任というように打ち出していくべき。
- ・ 生産段階からごみを減らすという最適生産の理念を説明する形でどこかに盛り込めないか。法人税を区ではなく都に払ってしようが、ごみを減らしたいというのは基本として言うて良いのでは。本文の中で触れるのが妥当ではないか。
- ・ 焼却主義からの完全な脱却は無理だが、製造・販売段階できちんとやっていただくのが一番大事である。法律に絡んでくる問題なので、荒川区の一般廃棄物処理の基本計画という名前のもとで、そこまで立ち入れるのかどうか。ただ、趣旨には賛同であり、理念はどんどん入れていただきたい。
- ・ 基本計画の中で、生産者責任にまで踏み込んで良いものか疑問があるので、別紙資料で生産者の減量についての区の考え方を記載してはどうか。
- ・ 包装紙等の家庭ごみの処理は、製造者が直接的には負担せず、区民の税で負担している。啓発としてこの仕組みについて一言あっても良いのかなと思う。
- ・ 電化製品の修理を出しても既にその部品が無い場合もある。無ければそれに近いものがうちにあるよ、などの連携的な受け皿を区独自で作れば良いのかなと思う。
- ・ 「最適生産」のイメージの説明があれば良いのではと思う。
- ・ 全部網羅して今回の荒川区の審議会の中でやるのは至難の業かと思う。国に対してデポジット制度などを含めて制度化を要望しているので、要望行為を紹介したり、全体の流れはこういうことなんだというのを例えば資料の中にきちんと入れて、審議会ですべて議論されたのであえて答申の資料の中に入れてたんだということなら何とか調整できるのでは。例えば、家電は今ではメーカーが次のリサイクルのことまで考えて作っている。大きな方向はそっちに向かっているのだという参考をきちんとだして、それにのっとって特別区がやっていて、荒川区もやっているという載せ方で何とか整理できるのではと思う。

## 【町場の意見を直接聞くべきである】

- ・ パブリックコメントをしてもなかなか意見が出てこないの、職員が町場に入り意見を聞いてそれを取り入れるべき。

## 【新リサイクルセンターについて記載すべき】

- ・ 「エコセンター」の具体的な記載があるので、「新リサイクルセンター」にも触れるべきである。
- ・ 整備方針は明らかになっているので、そのレベルで盛り込むように調整する。

## 【区民に分かりづらいカタカナ語を日本語で記載すべき】

- ・ 「ミックスペーパー」は分かりづらいので、日本語で記載すべき。

## 【学校教育へのフォローが必要である】

- ・ 製造から消費を含めて、モラルの問題になると思うので、教育が大事だと思う。区内全部の学校で子どもたちに清掃や税の問題等を教えてもらえるようフォローしなければならない。

## 【1人1日当たり200g減量化した場合の金額的な削減効果は？】

- ・ 実際に区民が1人1日当たり200g減量化した場合に、区として具体的にどのような金額が削減できるのか、試算して欲しい。
- ・ どの位の影響が出るのか、シュミレーションは難しいが、理論値で前提を作って次回に発表する。

**【基本方針1の施策の順番を変更すべき】**

- ・ 「基本方針1」の「施策① 未来につながる環境教育・環境学習」「施策② 極め細やかな普及啓発」「施策③ 分かりやすさに重点をおいた情報発信」は、今現実に対応すべき問題と、将来につなげる施策という視点で、順番は施策②、施策③、施策①の方が良いと思う。

**【分別の拡大についてもう少し強調すべき】**

- ・ 分別に更に拡大するという強調点が足りない。例えば、プラスチックはプラマークがついているが、ほとんどそれはついているだけという状態である。
- ・ 新たな資源回収に向けた検討・推進というがあるので、そこをもう少し整理してもらえれば、資源回収をもう少し細分化していくということがもっときちんとわかると思う。
- ・ 新たな資源回収に向けた検討・推進について、国で検討している小型家電のリサイクルについても注視していく必要がある。

**【リデュース、リユース、リサイクルのわかりやすい絵が必要である】**

- ・ リデュース、リユース、リサイクルのわかりやすい絵があると、訴え的にすごく優しいと思う。

**【計画推進のためには区のコーディネート（計画・調整）が必要である】**

- ・ 計画の推進のためには、区民参加や各協同組合等の連携が必要であり、区がコーディネート（計画・調整）して行く事が必要である。

**【区民の努力を讃える、あるいはここまで来たよということを記載すべきである】**

- ・ 10年前に比べると、今、荒川区の区民意識はすごく高くなった。朝は、事業者等の社員が近所の掃除を行っているし、本当にごみが落ちていない町になってきている。過去はこうだったけど、今がここにおいて、将来こういう町になっていくと良い、というのがあると、やっている方も、これからやっといこうとする方も楽しみがあると思う。
- ・ 東日本大震災以降、家庭から出る生ごみの量がとても少なくなった。区民意識がそこへ集中し、ひとつのことに對して協力体制がとれて良かったと思う。
- ・ 細い道だと、収集日にごみが7割程道路を塞いでしまうこともある。歩道をもう1、2m程広くしたような都市計画までビジョンを入れて欲しい。
- ・ 区民の努力を讃える、あるいはここまで来たよということを入れて欲しい。
- ・ 清掃一部事務組合でごみ処理・清掃事務について、仕事の進め方を海外へ売り込もうと試みをしている。広い世界で見たときに、23区の清掃事務がどういう位置づけになっているのか、決してだめではなく、苦勞しながらも正しい方向を探りながらやっとい世界でも評価されているということを知ってもらいたいと思う。
- ・ 江戸時代の江戸は世界に冠たる究極的な資源循環都市だったということを発信しても良いと思う。

**【最終処分場に限りがあることを強調すべきである】**

- ・ 処分場に限りがあり、いつか満杯になるということは知っているのですが、先々のことなので忘れてしまい危機感が足りないので、危機感を高める文言を入れて欲しい。
- ・ 自分が出したごみが東京湾の向こうにあるので見ることができず、危機感が持てないが、危機感をいうのはインパクトがあると思う。
- ・ アクションプランの中でそれを意識として持てるようにすれば良いと思う。

**【飲食店の生ごみの回収について、支援を調査・研究すべきである】**

- ・ 生ごみの割合が大きいので、生ごみをもっと減らす工夫ができれば、ごみの削減にはとても効果的である。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食店の生ごみの回収は、大手の事業者は回収を自分たちでやっているが、荒川区のお店はまだまだである。生ごみの資源化の調査・研究について答申で触れれば、荒川区の姿勢をアピールできると良い。</li> <li>・ 飲食店の生ごみの削減のために、食品リサイクル法の徹底が必要である</li> </ul>
<p>【答申の表題に副題で目指す方向を加えてはどうか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答申の表題に、副題で「コミュニティのつながりを活かした荒川区らしい循環型地域社会づくりを目指して」と加えて記載してはどうか。</li> </ul>
<p>【基本理念に「荒川区らしい地域循環圏の形成」を加えてはどうか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本理念の文章の中に、「荒川区らしい地域循環圏を形成し」という文章を加えて記載してはどうか。</li> </ul>
<p>【古紙リサイクルシステムの周知が必要である】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業系ごみの紙ごみの減量に向け、古紙リサイクルシステムの周知を図り、事業者が自らリサイクルを推進するよう働きかける必要がある。</li> </ul>
<p>【「基本方針2 Rの充実によるごみ減量の推進」の施策の体系について整理すべき】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リデュース、リユース、リサイクルの流れがわかるよう、施策①、②、③の順に、それぞれリデュース、リユース、リサイクルの内容で整理すべきである。</li> </ul>
<p>【新たな資源回収品目についての記載の「古布」は「古着」と記載したほうが分かりやすい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな資源回収品目についての記載の「古布」は「古着」と記載したほうが分かりやすい。</li> </ul>